



# インドからの便り

JICA協力隊 2019年1次隊

氏名：西澤 ひかり 職種：障害児・者支援

2020年7月21日 第2号



ワナックム！（タミル語でこんにちは）2019年1次隊としてインドのチェンナイに派遣されていました、西澤ひかりといます。現在は新型コロナウイルスの影響で帰国をしていますが、2019年7月～2020年3月までおよそ8か月間、障害児・者支援の職種で活動していました。本来の任期の半分も現地にはいられていませんでしたが、8か月で私が行った活動や、任地の様お伝えしたいと思います。

## 配属先について

私は2019年7月にインドに派遣されたのち、首都デリーでの約一か月の現地適応訓練を経て、2019年8月末に任地である南インド・チェンナイに赴任しました。（南インドやチェンナイの紹介は第1号をご覧ください。）チェンナイ中心部から車で1時間ほどのところに位置する私の配属先はNIEPMD(ニ IPPメド)というところです。



NIEPMD(ニ IPPメド)とは、

National Institute for Empowerment of Persons with Multiple Disabilities

「ナショナル・インスティテュート・フォー・エンパワメント・オブ・パーソンズ・ウィズ・マルチプル・ディスアビリティーズ」の略で、意味はナショナルが国立の、インスティテュートは研究所、エンパワメントは力を与えること、マルチプル・ディスアビリティーズが重複障がいそれぞれ意味し、まとめると「重複障がい者に力を与えるための国立研究所」です。

研究所、というだけあってこの施設には様々な専門家がいます。作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、技師装具士、ソーシャルワーカー、臨床心理士、ドクター、ナース、そしてスペシャルエドューケーター（先生）などなどスタッフだけで200人以上がいます。そしてそれらの資格取得を目指して学んでいる学生（大学生）もいます。教育科の学生だけで150人ほどが所属していて、その他作業療法士や理学療法士課程の学生や、他大学からインターンシップに来ている学生もいるので把握しきれないくらいの学生さんたちもいます。この施設を簡単に分かりやすく言うと、日本でいう病院、特別支援学校、職業訓練校、義肢装具製作所、市役所の福祉課、教育大学、医療・福祉大学が一か所にあるような感じでしょう。



まさに総合研究所という名に相応しい規模ですよ。日本にはこういった施設はなかなかないのでとても興味深かったです。初めに各課を見学させていただきただけで実に3週間かかりました。私はその中のスペシャルエドューケーション（特別支援教育）の部門に所属しました。

スペシャルエデュケーション課の中にはさらに3つの部門があります。

- ① Special School (Model School)
- ② HRD (Human resource Department)
- ③ Special Education Services

特別支援学校（モデルスクール）  
人材育成課  
特別支援サービス

①のモデルスクールは、施設併設の特別支援学校です。幼稚部（3歳）から18歳までの児童生徒が通っています。

②の人材育成は、特別支援教育者を育成するところ、つまり特別支援学校の先生になるため学生たちが学んでいる大学です。NIEPMD 全体には右のようなコースがあります。Spl.Edu とあるのが Special Education＝特別支援教育のコースです。D.Ed は Diploma Education（資格取得課程）、B.Ed は Bachelor Education（学士課程）、M.Ed は master Education（修士課程）のこと、（）内は障がい種で、MD は重複障害、ASD は自閉症スペクトラム症候群、CP は脳性まひ、DB は盲ろうのコースをそれぞれ表しています。ここで分かるように、インドでは障がい種ごとにコースが分かれています。日本では特別支援学校教員養成の過程ではこんなに細かく障がい種で区別せず、広く学ぶので、驚きました。【余談ですが初めそれが分からなかったので、いろんな人に「あなたは何を学んだの?」と聞かれて「教育だよ」と答えても「だから何の?」となかなか会話が噛み合いませんでした。また、履修課程を右の表のようにアルファベットを使った略語で言う（「I am a **ASDBED** student」といった感じ）ので慣れるまで聞いてもちょっと考えないと分からなくて苦労しました。



COURSES OFFERED	
●	M.Phil (Clin. Psy)
●	M.Ed. Spl. Edn (MD)
●	M.Ed. Spl. Edn (ASD)
●	PGDEI
●	B.P.O.
●	B.P.T.
●	BOT
●	B.ASLP
●	B.Ed. Spl. Edn (MD)
●	B.Ed. Spl. Edn (ASD)
●	B.Ed. Spl. Edn (DB)
●	D.Ed. Spl. Edn (ASD)
●	D.Ed. Spl. Edn (CP)
●	D.Ed. Spl. Edn (MD)
●	D.Ed. Spl. Edn (DB)
●	CCCG (A LEVEL) - NT
●	CCCG (B LEVEL) - NT
●	CCCG - RCI
●	ACCIE - CD

③は私が主に活動していたところです。特別支援教育サービスと言って、NIEPMD の附属学校に通っている以外の子ども（外部の普通小中学校、特別支援学校、職業訓練校（～18歳）、未就学児）が通って来て1回40分くらいその子に合わせた学習をします。毎日来る子もいれば週1の子、遠方のため一定期間近くに留まってまとめてサービスを受ける子など様々です。その子どもの課題に沿った課題を先生たちが個別に教えます。



活動の様子



子どもたちはノートと筆記用具を持ってきて、先生がその場で問題を書いて学習します。宿題もノートに書いてもらって持ち帰ります。日本でよくあるプリント学習やファイルはあまりありません。



クラフトアクティビティ（工作）をしました。牛乳パックと輪ゴムで作るパッチンカエル（ぴょんと飛ぶおもちゃ）を作ったら、初めて見たようでびっくりしていました。インドの牛乳パックはフニャフニャで、輪ゴムもサイズがモノによって違うのでちょうどいい材料を見つけるのに苦労しましたが、みんなが楽しんでくれてホッとしました。

